

令和6年度（2024年度）工学部学生便覧の訂正について

当該学生便覧の記載について誤りがございました。

お詫び申し上げますとともに、修正箇所を以下のとおりお知らせいたします。

○電気情報物理工学科

P61「情報通信理論」の電子工学コースの履修方法を「◎印：選択必修」から「空欄：選択科目」に修正

(2) 専門教育科目 授業科目表											
開講学科	授 業 科 目	開講セメスタ	総授業時間数	単位数	コ ー ス						履修方法 (左記コース欄) ☆印：学科必修科目 必印：コース必修科目 ◎印：選択必修 空欄：選択科目 ／印：コース対象外 (自由聴講科目)
					電 気 工 学	通 信 工 学	電 子 工 学	応 用 物 理 学	情 報 工 学	バ イ オ ・ 医 学 工 学	
電	電気情報物理工学序説	1	15	1							選択必修 ◎科目から20単位以上を修得すること
工	数学物理学演習Ⅰ	1	30	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
工	工学化学概論	1	30	2							
工	工学英語Ⅰ	1	30	1							
工	情報処理演習	2	30	1	☆	☆	☆	☆	☆	☆	クロス情報プログラムの学生は、6コースのいずれかに所属し、情報数学、オートマトン・言語理論、ディジタルコンピューティング、アルゴリズムとデータ構造、情報通信理論、人工知能、データ科学と機械学習の数理から4単位以上を修得すること
工	数学物理学演習Ⅱ	2	30	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
工	創造工学研修	2	30	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
電	電磁気学基礎論	3	30	2	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
電	電気回路学基礎論	3	30	2	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
工	計算機学	3	30	2	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
電	応用数学 A	3	30	2	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
電	電磁気学基礎演習	3	30	1	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
電	電気回路学基礎演習	3	30	1	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
電	プログラミング演習 A	3	60	2	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
工	アカデミック・ライティング	3	30	1							
電	電磁気学Ⅰ	4	30	2	必	必	必	必		必	
電	電気回路学Ⅰ	4	30	2	必	必	必	◎	◎	必	
電	電気計測学	4	30	2	必	◎	◎			◎	
電	応用数学 B	4	30	2	◎	必	◎	必	◎	◎	
工	情報通信理論	4	30	2	◎	必	◎		◎		
電	量子力学 A	4	30	2	◎		必	必		◎	
電	熱学・統計力学 A	4	30	2	◎	◎	必				
電	電子物性 A	4	30	2	◎		必			◎	
電	解析力学	4	30	2	◎			必			
工	情報数学	4	30	2		◎			必		
工	オートマトン・言語理論	4	30	2					必		
工	ディジタルコンピューティング	4	30	2		◎	◎		必	◎	
工	アルゴリズムとデータ構造	4	30	2	◎	◎	◎		必	◎	
電	熱力学	4	30	2				必			
電	電磁気学Ⅰ 演習	4	30	1	必	必	必	◎		必	
電	電気回路学Ⅰ 演習	4	30	1	必	必	必			必	
電	物理数学演習	4	30	1				◎			
電	通信工学概論	4	30	2		必					
電	工学者のための医学概論	4	30	2						◎	
電	基礎生物科学	4	30	2						必	
電	電気・通信・電子・情報工学実験 A	4	45	1	必	必	必	／	必	必	
電	応用物理学実験 A	4	45	1	／	／	／	必	／	／	

電気情報物理工学科

— 61 —

○材料科学総合学科

P110 「(4) 卒業に要する最低修得単位数」の表中の学術基礎科目のうち選択（必修）科目の単位数を「2 単位」から「4 単位」に修正

(4) 卒業に要する最低修得単位数

	全 学 教 育 科 目									専門教育科目		合 計	
	基礎科目				先進科目		学術 基礎 科目	言語科目		工学 共通 科目	学科 専門 科目		
	学 問 論	人 文 学 科 学	社 会 学 科 学	学 際 科 目	現 代 素 養 科 目	先 端 学 術 科 目		外国語					
								英 語	基 礎 初 修 語 Ⅰ				基礎初修語Ⅱ または 工学英語Ⅰ， 工学英語Ⅱ アカデミック・ライティング
必修 科目	2	0	0	2	2	0	16	6	0	0	2	17	47
選択 （必修） 科目	13						4→2	0	2	2	0	61	82
計	19						20	6	2	2	2	78	129

(注) 材料科学総合学科以外の授業科目を、選択科目の卒業要件単位として認めることがあります。

○各種資格

P191 「⑩建築士（建築士法）」の記載を以下のとおり修正

⑩ 建 築 士（建築士法）

建築・社会環境工学科のうち、都市・建築デザインコース、都市・建築学コース卒業者で、下記の受験資格要件を満たした者は各種建築士試験（一級建築士、二級建築士、木造建築士）を受験することができます。

ー都市・建築デザインコース卒業者の場合、卒業に要する最低修得単位を修得すること。

ー都市・建築学コース卒業者の場合、卒業に要する最低修得単位に加えて、下記科目から、一級建築士では3単位以上、二級および木造建築士では1単位以上を修得すること。

「基礎設計 B」「建築設計 BI」「建築設計 BII」「建築設計 CI」「建築設計 CII」「建築設計 D」

なお、いずれのコースでも、一級建築士の免許を受けるためには、卒業後に最低2年間の建築設計実務の経験が必要となります。

【改訂版】

⑩建築士（建築士法）

建築・社会環境工学科のうち、都市・建築デザインコースまたは都市・建築学コース卒業者で、下記の受験資格要件を満たした者は、各種建築士試験（一級建築士、二級建築士、木造建築士）を受験することができます。なお、試験合格後の免許登録には、所定の建築実務の経験が必要となります。

都市・建築デザインコース卒業者の場合

- 二級および木造建築士の受験資格要件は、卒業に要する最低修得単位を修得すること。
- 一級建築士の受験資格要件は、卒業に要する最低修得単位に加え、下記の建築計画関連科目群から2単位以上を修得すること。

都市・建築学コース卒業者の場合

- 二級および木造建築士の受験資格要件は、卒業に要する最低修得単位を修得すること。
- 一級建築士の受験資格要件は、卒業に要する最低修得単位に加え、下記の建築計画関連科目群から2単位以上および建築設計製図関連科目群から3単位以上を修得すること。

建築計画関連科目群：西洋建築史、施設計画論、現代建築理論、空間論

建築設計製図関連科目群：基礎設計B、建築設計BI、建築設計BII、建築設計CI、建築設計CII、建築設計D